

塩原溪谷遊歩道：回顧コース

行程：3.3 km

所要時間：120 分（片道）

最寄りのバス停：

- 猿岩駐車場西側起点：塩原大綱で下車（500m、徒歩 8 分）
- 墓石園地回顧橋の東側起点：回顧橋で下車

コース概要：

回顧コースは難易度中級のコースで、急な傾斜と下り坂が多い。コースは、大綱地区を横切って箒川の南を留春の滝から回顧の滝まで続き、森の中を通っている。回顧コースとやしおコースは、合わせて 8.5 キロメートルの塩原溪谷遊歩道を構成している。

猿岩駐車場西側の起点から、留春の吊橋と留春の滝までは、歩いてすぐに行ける。そこからの小道は起伏があり、大きなモミの木がある沼地につながっている。道なりに歩くと、一連の急な坂道へ続いている。そこを登ると尾根に到達するが、そこでは 4 月中旬に大量のツツジが開花する。そこからの道は安定した下り坂になるが、時々急な坂もある。コースは、カラマツ、モミおよび日本のみで見られるヒノキ属のアスナロの原生林を抜け、さらに続く。

見どころ：

留春の滝と吊橋

留春の吊橋は、留春の滝の近くの東側起点から徒歩約 10 分のところにある、この地域で最も穏やかな滝の一つである。その滝水は、15 メートル下の連なった岩肌を流れる。冬から晩春までの約 3 か月間、水は凍結し、ほぼ完全に流れなくなる。

ツツジ

いくつかの種類のツツジが、コース中間地点付近の尾根に沿って群生している。近くの展望台から大綱地区が見える。

回顧の滝と吊橋

長さ 100 メートルの回顧の吊橋は、東側起点からそれほど遠くない回顧の滝の近くで、

箒川に掛かっている。橋の近くにある展望台からは、対岸の 55 メートルの滝を見渡すことができる。「みかえり」は「振り返る」という意味であり、旅行者が溪谷を後にするとき、最後にもう一度滝を見ようとして必ず振り返るという言い習わしに因んだものである。